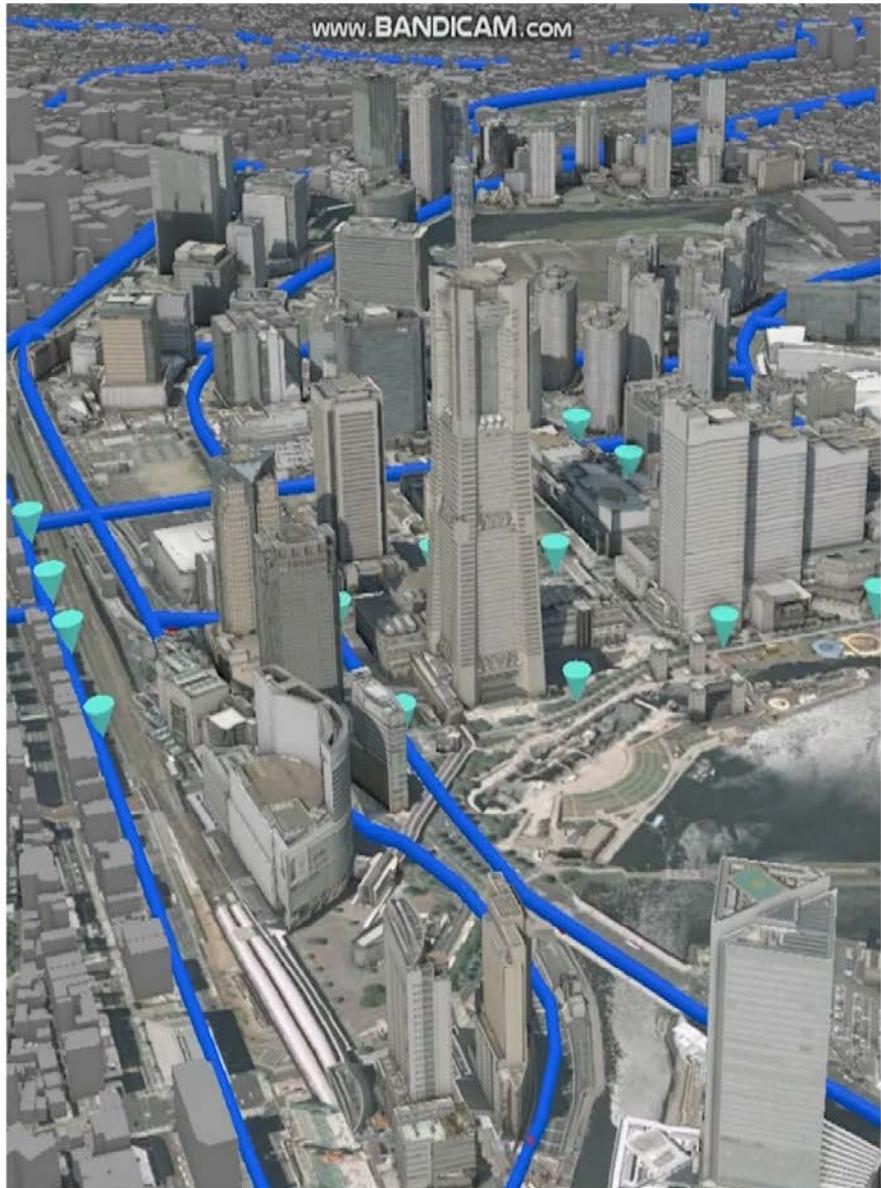


## 技術概要書（様式）

※

出展技術の分類	安全・防災 <input checked="" type="checkbox"/> インフラDX <input type="checkbox"/> 維持管理 <input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> 品質	(該当分類に○を付記)	
技術名称	ワンコイン浸水センサによる浸水状況の可視化	担当部署	九州支社 事業企画部
NETIS登録番号		担当者	高月 敬
社名等	株式会社オリエンタルコンサルタンツ	電話番号	090-9643-4547
技術の概要	1. 技術開発の背景及び契機	昨今の九州における豪雨の被害が毎年のように発生し、深刻な被害をもたらしています。本サービスは、ワンコイン浸水センサと3D都市モデルを活用し、センサーを設置した地域の浸水状況のリアルタイムでの把握及び3D都市モデルを活用することによる浸水状況の可視化を行い、防災面での高度化を担う技術です。	
	2. 技術の内容	ワンコイン浸水センサと3D都市モデルを活用し、河川における越水や、道路冠水状況など地域における浸水状況をリアルタイムで把握し、かつ3D都市モデル上で可視化出来るため、行政及び利用者が見てすぐに地域の被害状況の把握ができ、避難や災害対応の迅速化が期待できるシステムを目指しました。	
	3. 技術の効果	ワンコイン浸水センサと3D都市モデルにより、対象地域全域の浸水被害状況を一元的かつリアルタイムで把握 ・行政はリアルタイムで浸水状況を把握・伝達 ・市民は避難行動を促進 ※将来的には高精度の気象情報と連携して浸水リスクを事前に把握・伝達・避難行動を促進	
	4. 技術の適用範囲	ワンコイン浸水センサの設置エリア内	
	5. 活用実績	岐阜県大垣町	

## 6. 写真・図・表



ワンコインセンサーによる防災DX化

行政	市民
状況把握・共有	理解促進
情報伝達	行動促進

ワンコインセンサーにより、行政はリアルタイムで浸水状況を把握・伝達、市民は避難行動を促進、将来は高精度の気象予報と連携して浸水リスクを事前に把握・伝達・避難行動を促進

凡例

■ワンコインセンサー情報  
△ 浸水なし      △ 浸水あり

■浸水エリア情報  
■ 現在の浸水エリア

■道路交通情報  
■ 通行可      ■ 通行不可